

# 千葉地方最低賃金審議会運営規程

令和3年6月25日改正

## (目的)

**第1条** 千葉地方最低賃金審議会(以下「審議会」という。)の議事運営は、最低賃金法(昭和34年法律第137号)及び最低賃金審議会令(昭和34年政令第163号)に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

## (会議の招集)

**第2条** 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が必要と認めたときのほか、千葉労働局長(以下「局長」という。)、5人以上の委員又は労働者代表委員、使用者代表委員及び公益代表委員各1人以上を含む3人以上の委員から開催の請求があったとき、会長が招集する。

2 前項の規程により局長又は委員が会議の開催を請求しようとする場合には、付議事項及び希望期日を、少なくとも当該期日の1週間前までに、会長に通知しなければならない。

3 会長は、会議を招集しようとするときは、緊急やむを得ない場合のほか、少なくとも3日前までに、付議事項、日時及び場所を委員に通知するとともに、局長に通知するものとする。

## (小委員会)

**第3条** 会長は、審議会の議決により特定の事案について事実の調査をし、又は細目にわたる審議を行うため、委員を指名して小委員会等を設けることができる。

## (委員の欠席)

**第4条** 委員は、病気その他の事由によって会議に出席できないときには、その旨を会長に通知しなければならない。

2 委員は、旅行その他の理由によって長期間不在となるときは、あらかじめ会長に通知しなければならない。

## (会議の議事)

**第5条** 会長は、会議の議長となり、議事を整理する。

2 委員は、会議において発言しようとするときは、会長の許可を受けるものとする。

3 審議会は、会長が必要があると認めるときは、委員でない者の説明又は意見を聴くことができる。

## (会議の公開)

**第6条** 会議は、原則として公開とする。ただし、公開することにより、個人情報の保護に支障を及ぼすおそれがある場合、個人若しくは団体の権利利益が不当に侵害されるおそれがある場合又は率直な意見の交換 若しくは意思決定の

中立性が不当に損なわれるおそれがある場合には、会長は、会議を非公開とすることができる。

2 会長は、会議における秩序の維持のため、傍聴人の退場を命ずるなど必要な措置をとることができる。

(議事録及び議事要旨)

**第7条** 会議の議事については、議事録を作成するものとする。

2 議事録及び会議の資料は、原則として公開とする。ただし、公開することにより、個人情報保護に支障を及ぼすおそれがある場合、個人若しくは団体の権利利益が不当に侵害されるおそれがある場合又は率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがある場合には、会長は、議事録及び会議の資料の一部又は全部を非公開とすることができる。

3 議事録を非公開とする場合には、議事要旨を作成し公開するものとする。

(意見の提出)

**第8条** 会長は、審議会において 議決を行ったときは、答申書又は議決書を局長に提出するものとする。

(規程の改廃)

**第9条** この規程の改廃は、審議会の議決に基づいて行う。

## 附 則

本規程は、昭和34年 7月30日から実施する。

本規程は、平成 8年 5月10日から適用する。

本規程は、平成 9年 12月 5日から適用する。

本規程は、平成12年 5月10日から適用する。

本規程は、平成13年 5月 9日から適用する。

本規程は、令和 3年 6月25日から適用する。